

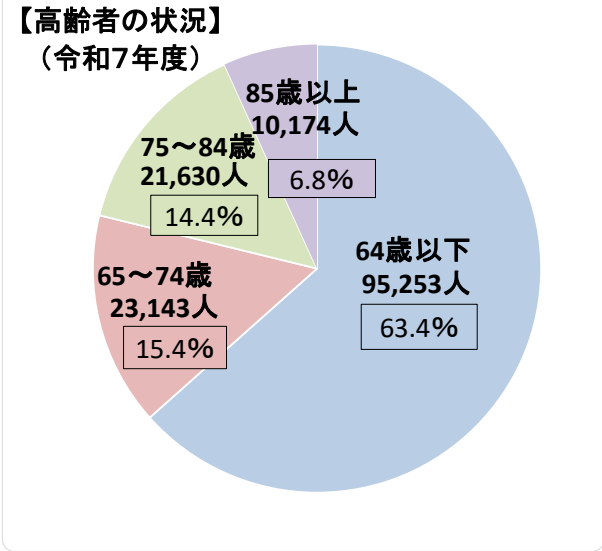
令和7年度 釧路市地域包括支援センター事業実施状況について

資料2

1 釧路市の高齢者人口及び介護認定状況

(1) 釧路市の人口

① 高齢者の状況 令和7年度 (人)			
	男	女	合計
人口	70,458	79,742	150,200
64歳以下	47,715	47,538	95,253
65歳以上	22,743	32,204	54,947
65～74歳以下	10,632	12,511	23,143
75～84歳以下	8,937	12,693	21,630
85歳以上	3,174	7,000	10,174
高齢化率	32.3%	40.4%	36.6%
後期高齢者の割合	17.2%	24.7%	21.2%

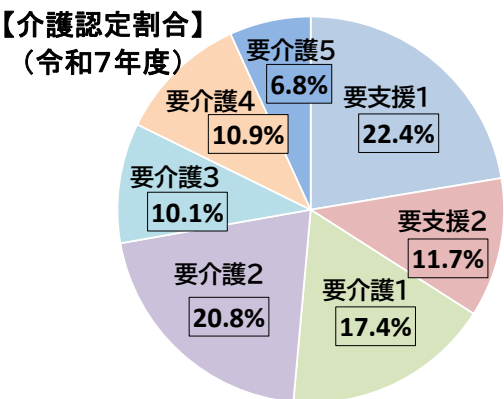
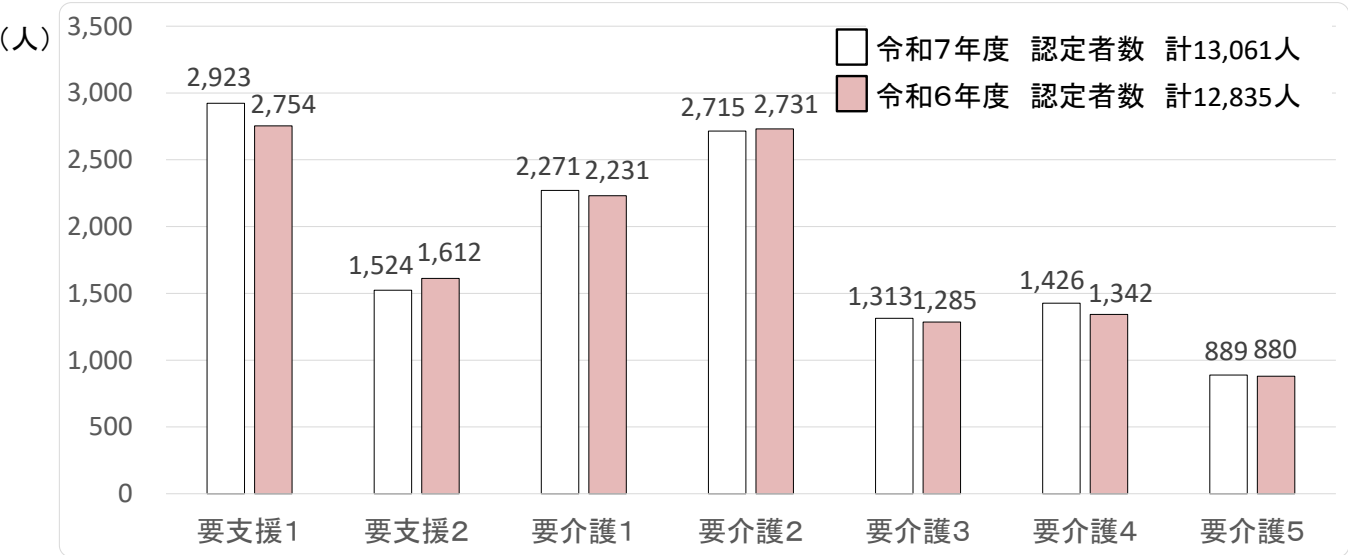


② 各年度末の高齢化率・認定率			
	R5	R6	R7
高齢化率	35.8%	36.2%	36.6%
要介護認定率	23.1%	23.2%	23.8%

※要介護認定率には第2号被保険者を含む

- ・令和5年度～令和7年度にかけて、釧路市における高齢化率は上昇し続け、令和7年度末には36.6%に達した。
- ・要介護認定率の伸びは比較的緩やかである。

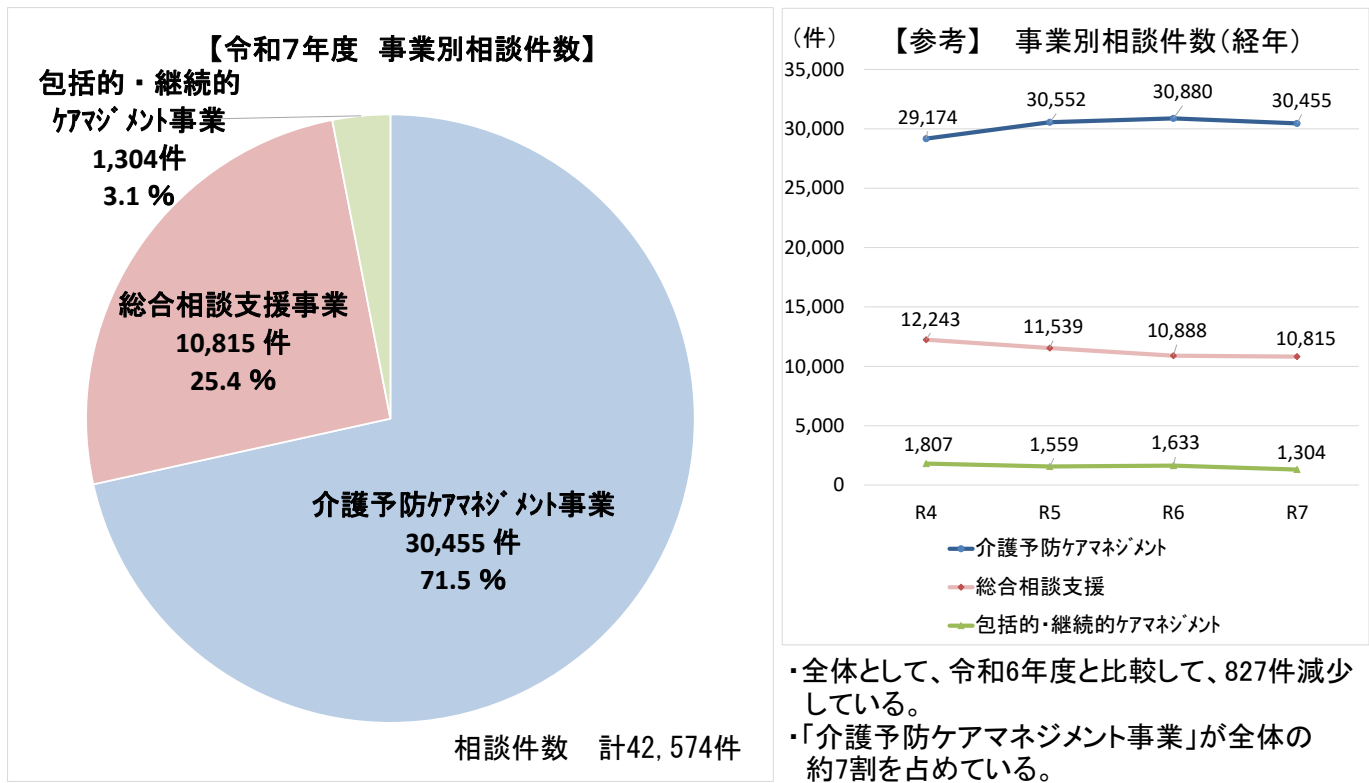
(2) 介護認定状況 要介護・要支援認定者数(第1号及び第2号被保険者)



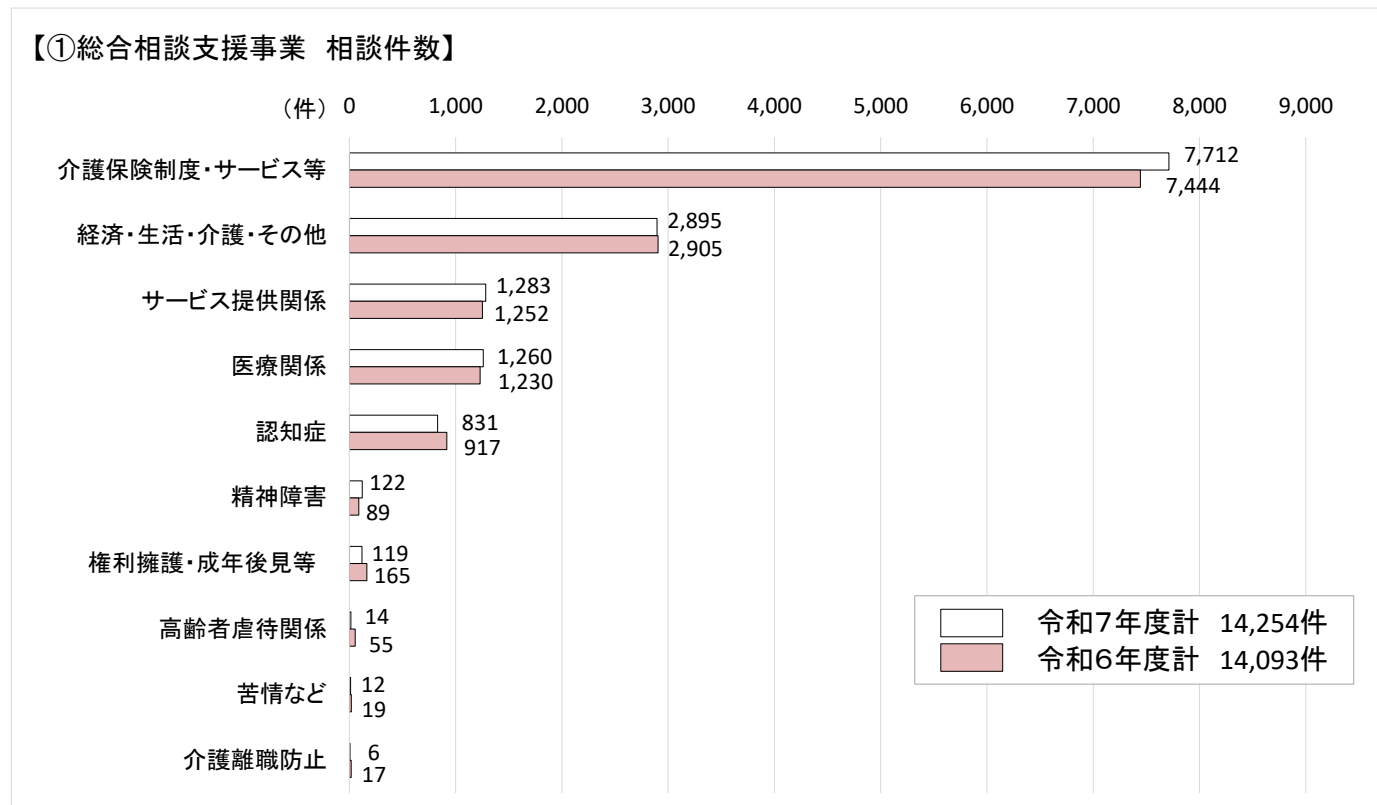
- ・介護認定割合は、ほぼ横ばいで推移している。
- ・認定者総数は226人増加している。

2 令和7年度 釧路市地域包括支援センター事業実施状況

(1) 相談受理状況



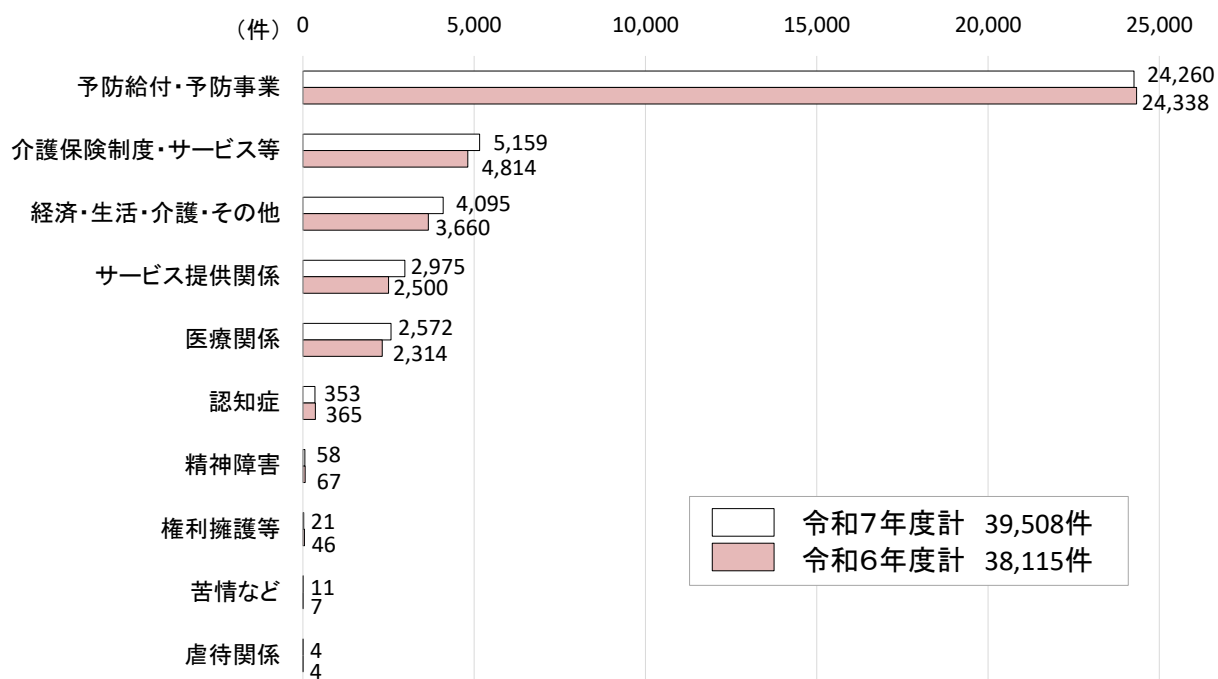
(2) 事業別 相談件数内訳(相談1件につき、複数該当する場合はすべてカウント)



①総合相談支援事業 【地域の高齢者のあらゆる相談対応にあたるもの】

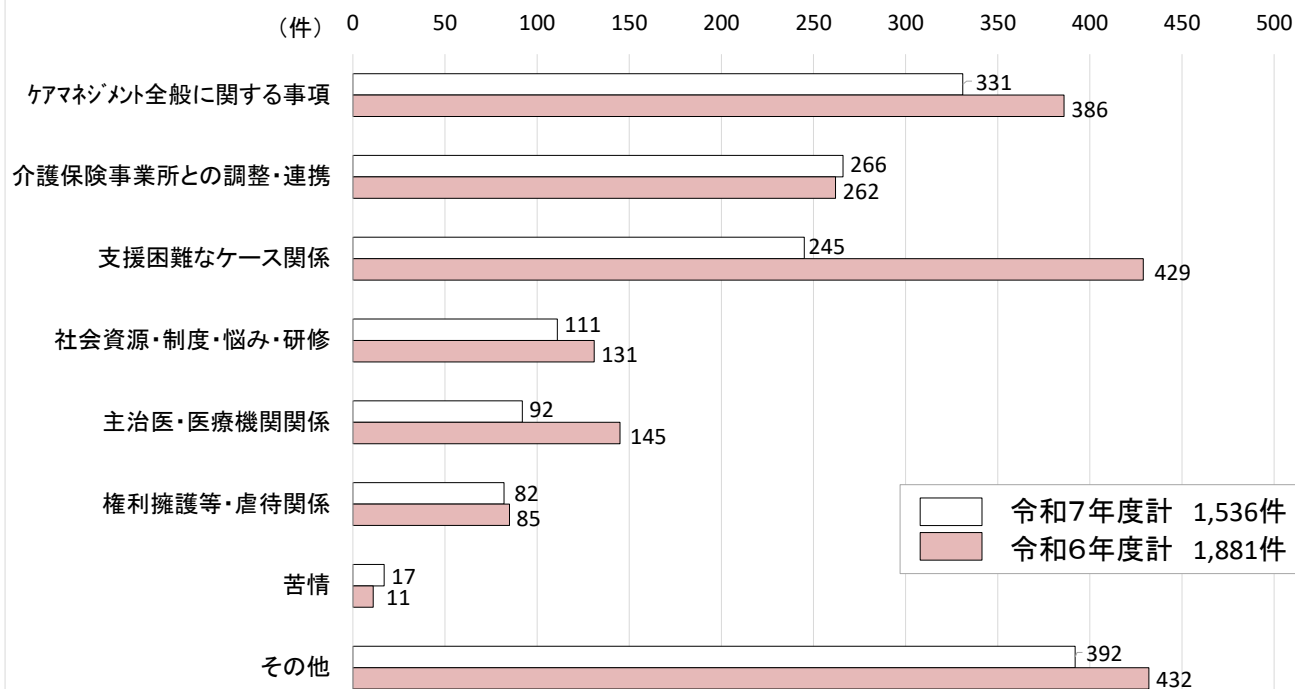
・相談内容は「介護保険制度・サービス等」が半分以上(54.1%)を占めている。

【②介護予防ケアマネジメント事業 相談件数】



②介護予防ケアマネジメント事業 【要支援認定者・事業対象者のケアプラン作成に対して関わったもの】
・相談内容は「予防給付・予防事業」のほか、「介護保険制度・サービス等」「経済・生活・介護・その他」「サービス提供関係」が多く、例年同様の傾向である。

【③包括的・継続的ケアマネジメント事業 相談件数】



③包括的・継続的ケアマネジメント事業 【CMIに対してケアプラン作成や困難事例の助言を行ったもの】
・相談内容は「ケアマネジメント全般に関する事項」のほか、「介護保険事業所との調整・連携」「支援困難なケース関係」が多い。

(3) 処遇困難ケース対応状況

地域包括支援センターがケアマネジャー等から処遇困難として相談を受け対応しているケース

	介護保険 制度等	消費者 被害	権利擁護	成年後見 支援	サービス 提供	精神障害	認知症	医療関係	経済的 問題	その他	合 計
R7年度	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	7(3)	42(14)	3(1)	19(6)	18(9)	91(35)
R6年度	1(1)	0(0)	1(1)	4(1)	3(1)	11(5)	38(17)	0(0)	21(10)	17(7)	96(43)

※()の数字は新規ケース数

- ・令和6年度と比較して、合計件数は5件減少
- ・認知症、経済的問題、精神障害に関するものが多い

(4) 高齢者虐待相談対応状況

地域包括支援センターが相談を受け対応したケースの状況

	身体的虐待	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	ネグレクト	セルフ ネグレクト	虐待の疑い	合 計
R7年度	7(4)	3(2)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	12(8)
R6年度	20(9)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	19(8)	40(18)

※()の数字は新規ケース数

- ・令和6年度と比較して、28件減少
- ・身体的虐待が多い。性的虐待・経済的虐待・セルフネグレクトは0件だった

(5) 地域ケア会議（各包括主催）の開催状況

① 地域ケア会議開催状況

センター名	開催回数	主 な 内 容
阿寒地域包括 支援センター	個別 3回 推進 2回	・生活力の低下した高齢者の支援について ・阿寒湖温泉地区に住む精神疾患のある方への支援について
音別地域包括 支援センター	個別 1回 推進 2回	・活動的な生活を送るためにはどのような働きかけが必要か検討 ・音別地区の身寄りのない方への継続支援について
西部地域包括 支援センター	個別 10回 推進 2回	・通院を自己中断、こだわりが強い方の在宅支援について ・津波警報時、避難の際の不安解消について
中部北地域包括 支援センター	個別 10回 推進 2回	・認知症高齢者の金銭管理等について ・徒歩での外出が大変になってきている方の外出支援について
中部南地域包括 支援センター	個別 10回 推進 2回	・認知症高齢者が在宅生活を続けるためのサポートやリスクについて 情報共有、検討 ・難聴等によりコミュニケーションに配慮が必要な方の支援について
東部北地域包括 支援センター	個別 7回 推進 2回	・独居で身寄りがない方の支援について ・家族の過剰な要求（ハラスメント）の対応について情報共有、検討
東部南地域包括 支援センター	個別 10回 推進 2回	・精神疾患や認知機能低下による、知人との生活に関する課題について 情報共有、検討 ・重層的な課題のあるケースの支援について
令和7年度	個別 51回 推進 14回	合計 65回
令和6年度	個別 54回 推進 14回	合計 68回

「個別会議」～個別ケース検討を通して、ケアマネジャーの自立支援能力を向上し、地域の連携を高めネットワークを構築し、地域に共通する課題を明確にする目的で開催する会議

「推進会議」～個別ケースの検討等を通じて把握した地域課題を地域の関係者と共有し、課題解決に向けた検討を行うことを目的とした会議

② 把握した地域課題

地 域 課 題
・社会資源がとても少ないため、地域で見守りの必要性が高い ・地域内での移動手段が少なく、身寄りのない方は外出しにくい ・支援が必要な方を早い段階で発掘するためのネットワークシステムの構築 ・関係機関の他、他業種の意見を取り込み連携できるシステムの構築 ・金銭管理が必要な高齢者や身寄りがない高齢者の増加。成年後見制度利用の正しい理解を普及啓発 ・生活困窮する高齢者の支援策として、障害福祉サービス就労支援等を利用可能なシステムの構築 ・高齢化に伴い、既存の地域団体だけでは地域コミュニティは保てない段階にきている ・認知症施策の仕組みに限らず、困った時どこに相談したらよいかを知らない地域住民へ、窓口としての包括の存在があることへの周知を継続していく ・身寄りがない、または親族支援が期待できない高齢者に対する緊急時の対応支援、身元保証・死後事務支援 ・生活困窮者や家族問題を含む総合的な困りごとへの多職種連携による対応 ・若い世代の疾患、障害、家族問題を抱える人と家族（ケアラー）の支援体制整備 ・認知症高齢者が支援を拒否する場合の介入方法や、運転継続に対する実効性のある対応手段の不足